



BRIDGE

教科・地域社会・未来への架け橋となる学びの時間



未来を生き抜く人材育成事業「キャリア教育コーディネーター活用事業」モデル校の指定を受けています。

2年生(44回生) 解決策を考え合う

中間発表会后、各自が設定した課題を再検討し、解決策を模索しました。個々で考える時間は成長に欠かせませんが、当然、行き詰まることもあります。その場合には、授業内でグループワークを導入しています。

あるグループでは、一人の生徒が自分の祖父との時間をきっかけに設定した「高齢者と若者の交流を増やすためには」の課題に対し、「交流のある高齢者って、小学生のとき、登校を見守ってくれた人、地域スポーツの指導員さんかな?」「高齢者とはどのような人か?、元気な人?それとも福祉施設で生活している人?」などの疑問を元に議論を深めました。高齢者を一括りにせず、どのような高齢者とどのような目的で交流し、双方にどのようなメリットがあるか、どのような未来が見えるかを検討しました。生徒たちが、対話を通じて学びを深めていく様子がかがええました。また、自らの課題を報告し合い、困っていることを共有し、付箋を使って他者の課題にも解決策を提案し合うことができました。その後、個人で他者から提案された複数の解決策を整理分析しました。グループワークは、新たな視点を得る機会となりました。



2年生 達成したいゴール・実現したい未来

「あなたが考える課題解決策は、どんなSDGsの目標に貢献できるか。1つ選びなさい」という質問の回答を基に、生徒たちが貢献したい目標の総数を、SDGsのロゴの大きさで表しました。

